



TITLE:

静脩 Vol. 52 No. 3(2015.10)[全文]

AUTHOR(S):

---

CITATION:

静脩 Vol. 52 No. 3(2015.10)[全文]. 静脩 2015, 52(3)

ISSUE DATE:

2015-10-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/201101>

RIGHT:

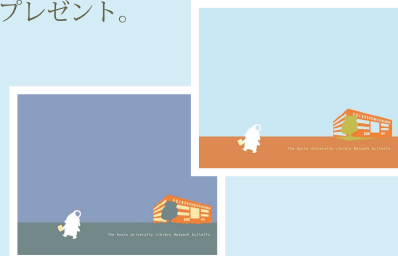
# 静脩

SEI-SHU

2015  
10

Vol.52 No.3

読者アンケートSTART！  
アンケート回答者全員に  
オリジナルP C 壁紙&ブックカバー  
プレゼント。



特集

## 静脩 今昔、そして未来へ

### CONTENTS

- 02 : 静脩：今昔、そして未来へ
- 06 : 教員寄贈図書
- 08 : 図書館・室からのお知らせ



# 静脩：今昔、そして未来へ

静脩は1964(昭和39)年9月、京都大学附属図書館報として産声をあげ、昨年度創刊50周年を迎えました。附属図書館は1899(明治32)年に創設され、半世紀以上を経た1961(昭和36)年3月に「附属図書館60年史」を刊行、その3年後静脩が発刊されたことになります。


50周年という大きな区切りを超えた静脩を、京都大学図書館・室の情報を外に向けて広報する媒体としてよりよく未来へつなぐため、今号から静脩の読者アンケートを開始します。今一度創刊時から振り返り、これからの静脩に思いを馳せ、アンケートへご回答いただけると幸いです。

## 「静脩」創刊

創刊号のあとがきにもあるように、いわゆる館報は「京都帝国大学付属図書館報」として、昭和15年7月から5号のみ発行されています。内容は新着図書をメインとし、閲覧統計・報告などでした。新着情報は当時も利用者が知りたい重要事項だったことがうかがえます。

その後四半世紀近くを経て創刊された「静脩」には、最初の館報の「たんなる復活」ではなく、「図書館と利用者との相互のコミュニケーションをよくすることに、もっとも大きなねらいがあります。」と今に続く刊行目的が明示されています。以後様々な記事や手記が静脩に掲載されてきました。

京都大学附属図書館報



1964年 9月  
Vol. 1, No. 1

The Kyoto University Library Bulletin

附属図書館玄関に掲げられていたレリーフ、斎藤素巖作「雲」の写真が長く使われていました

静脩の文字は、西園寺公望公の筆になる『静脩館』の扁額によります

### 創刊のことば

図書館は図書館利用者のために在る。大学図書館は主として研究者と学生のためにある。京大図書館は、部局図書室を含めて、220万に余る蔵書数を誇り、多数の貴重な文献・資料や特殊文庫の所蔵でその名を謳われている。けれども反面に、この蔵書のための図書館に墮する傾向がなかったか。蔵書のための図書館から利用者のための図書館へ、ここに大学図書館近代化の基本的な問題がある。

この問題の解決には利用者側の理解と協力が絶対に必要である。例を指定書にとつて見ても、これは教官の学生に対する学習指導上の事柄であつて、図書館はそれに協力する立場にある。一般に文献・資料を蒐集整理し、情報活動を活発にして、積極的に利用者に奉仕しうる態勢を整えることは図書館の仕事であるが、この仕事は、個々の教官、各教室、各部局の理解と協力を得て、はじめて完全なものになる。

京大図書館報「静脩」の刊行を企てたのは、単なるPRのためではない。図書館と利用者とのコミュニケーションの道をひろげ、もって大学図書館近代化問題の解決に資しようとするにある。希わくは利用者各位の御協力と御支援を賜わらんことを。

(付属図書館長 堀江保蔵)

創刊号 Vol.1 No.1 の巻頭

## 創刊号の紹介

「創刊のこぼし」が当時の図書館長堀江保蔵先生によって掲げられています。「私事」として吉川幸次郎先生の手記、「学生との図書館懇談会開く」「資料紹介」「ルーマニアからの親善図書 300 冊余」「図書整理業務の飛躍的な能率化」「ご利用ください 文献複写室」「あとがき」と続きます。利用者とのコミュニケーション、図書館改善策としての懇談会、寄贈図書・業務の紹介、利用拡大の広報、など今と変わらぬ内容となっています。

## 「静脩」の名前

館報「静脩」の名は初代附属図書館の館名『静脩館』によります。これは本学の設立に尽力した当時の文相西園寺公望公が、書記官中川小十郎氏の委嘱をうけ揮毫したもので、「静かに修める」そのままの意、出典は小学卷五外篇嘉言第五、諸葛孔明の論言の一文「静以修身」からです。

## 「静脩」のコーナー

「東西南北」「図書室めぐり」「京都大学図書館巡り」等々と名前を変えつつも、長く継続しているコーナーが部局図書館・室の紹介です。各図書館・室の昔の姿を偲びつつ、現在の図書館・室を巡ってみてはいかがでしょうか。

京都大学学術情報リポジトリ  
**KURENAI** 紅  
Kyoto University Research Information Repository

## 「静脩」と KURENAI

「京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI)」で静脩を振り返ってみませんか。KURENAI は学内で創出される研究・教育の成果物を、インターネットを通じて全世界へ発信するものです。その中で静脩は、号外や特集号、総目次も含め、創刊号からすべて掲載されています。つまり居ながらにして、京都大学図書館の 50 年に触れることができるのです。半世紀前から現在まで、そして未来へと想いを巡らせながら、ゆっくり静脩をお楽しみください。京都大学図書館機構または KULINE のトップページからも検索、アクセスができます。

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>



## 「静脩」への寄稿

図書館・室へのご意見、研究や読書にまつわるエッセイなど、学生の皆さんや教職員からお寄せいただいた寄稿に支えられてきました。

創刊号の吉川幸次郎先生に始まり、湯川秀樹先生や桑原武夫先生といった著名な先生からの寄稿も多数掲載されています。KURENAI で「静脩+お名前」をキーワードに検索してみてください。

## 「静脩」のデザイン

単色、2 色カラーを経て、2011 年からフルカラーになりました。創刊号以後概ね 6 ～ 8 ページでしたが、1990 年代半ばから徐々に増えはじめ、20 ページを超えるボリュームの時期もありました。現在は 10 ページ前後のコンパクトな冊子となっています。学生の皆さんを読者層の中心に据え、写真を多めにビジュアルに配慮し親しみやすい誌面作りを心がけています。

## 「静脩」の編集

創刊当初から、学内の図書館・室の職員が集まって、内容の検討から原稿依頼、執筆、レイアウト、校正、配付までを手掛けています。創刊号は附属図書館報ですが、附属図書館だけでなく学内の図書館・室を合わせ 10 名の名前があがっています。現在も編集委員は 10 名、各号につき 2 ～ 3 名でチームを組んで編集しています。

## 「静脩」の特集

図書館のいまを皆さんに知っていただこうと、そのときどきのホットな話題を特集にしてきました。数号にわたる大掛かりなものとしては、「利用者の声」特集号（Vol.7 No.3～No.5、1970～71年）、将来構想 Vol.45 No.1～No.4（2008～09年）、図書館への期待（Vol.46 No.1～No.3、2009～10年）などがあります。近年は学生の皆さんへアピールすることを目指して、図書館のサービスや使い方を知ってもらう記事に力を入れています。ここでは編集者がおすすめしたい、過去の特集をご紹介します。

### ①私がすすめる図書館利用法（Vol.47 No.2、2010年）

学生の皆さんにもっと図書館を活用してもらうために、教員の方々からメッセージをいただきました。文系理系の枠を超えて、学生時代の思い出から自身の図書館活用法の紹介まで内容は多岐にわたります。先生と図書館をより身近に感じていただける特集です。静脩は図書館と利用者を、そして利用者同士をつなぎます。

### ②京都大学附属図書館創立 100 周年記念（臨時増刊号、1999年）

附属図書館百周年記念事業のひとつとして編集されたもので、歴代附属図書館長の寄稿をはじめ、職員の手記や利用者の声、研究成果に講演録まで詰め合わされた、「図書館外史とも言える重要な記録」（あとがき）となっています。リポジトリ KURENAI においては、歴代静脩の中で最も読まれている号です。懐かしいだけでなく、これからを考えるヒントを得ることができる、そんな記事がたくさんあります。

### ③学生との図書館懇談会開く（Vol.1 No.1、1964年）

#### 静脩企画 利用者座談会（Vol.47 No.1,3、2010～11年）

利用者とのコミュニケーションの道を広げるといふ静脩のねらいにそって、利用者の声を集める試みが度々行われており、過去には利用者座談会も開催されました。その第1回目の様子が創刊号に、最近のものが2010年度の号に掲載されています。あわせて読むと、図書館の発展を感じるとともに、求められる機能が随分幅広く、高度になってきたことがよく分かります。

#### <昔ならでは>

「カード室の目録が大へんひきにくい」  
「貸出しのできる本は古いのばかりで、新しいのは開架室にできて貸出しできません」  
「書庫から出してもらった図書は5時までには返納しなければならないのは大へん不便」

#### <昔も今も>

「閲覧室が大へん騒がしく、落付いて勉強できません」  
「暖房設備が不十分」  
「もっと遅い時間まで利用したい」  
「開架室の図書の排列が大分乱れている」  
「試験期のことも考えて製本してほしい」

#### <今だからこそ>

「KULINE をもっと便利に」  
「貴重図書の電子化をもっと積極的にしてほしい」  
「無線 LAN と電源は図書館内どこでも繋がるのが望ましい」

いただいた意見は学内の図書館・室へフィードバックされ、サービスの改善につながっています。そして利用者からの寄稿やインタビューもまた、図書館への不満や要望を伝える大切な声です。静脩が図書館と利用者の想いを共有する場であるために、これからも皆さんの声をお聞かせください。

## 今号より読者アンケートをスタートします

- ・ 今号の印象は？
- ・ 静脩に取り上げて欲しい図書館に関する話題は？

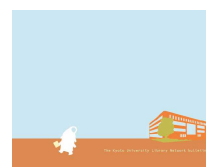
毎号の発行日から回答できます。

アンケートフォームへは下の URL からアクセスしてください。

皆さんの率直なご意見をお待ちしています。



<https://enquete.iimc.kyoto-u.ac.jp/limesurvey/index.php/758165/lang-ja>



回答してくださった方全員に、静脩オリジナルの PC 壁紙とブックカバーをプレゼント！プレゼントの内容は毎号変わります。

## その他の図書館機構の広報誌

### 附属図書館「LSN」

附属図書館から最新ニュースをお届けすることを目的に、Library Service News（通称 LSN）を毎月発行しています。3 か月分の開館カレンダーをはじめ、図書館の活用についてのお知らせ、学習や研究に役立つ講習会などのイベント情報を掲載しています。附属図書館や吉田南総合図書館、生協ショップで配布しているほか、ウェブ版もありますので、どうぞご覧ください。メールマガジンでも配信しています。

Library Service News <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/24245>

Library Service News メールマガジン <http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/LSN/mailmaga.html>



### 吉田南総合図書館「かりん」「LibraryNewsletter」

吉田南総合図書館では、2つの広報誌を発行しています。それぞれウェブでも公開しています。

#### (1) 図書館報「かりん」（年 1 回 12 月刊）

教員や学生の方々からの寄稿がメインの充実した内容です。今年度発行の第 8 号は、新たな試みとして和英併記で発行予定。どうぞご期待ください。

#### (2) LibraryNewsletter（8、9 月を除く月 1 回刊）

図書館からのお知らせのほか、先輩の論文執筆体験記、留学体験記など、主に学生のみなさんの身近な話題をお届けします。

図書館報「かりん」<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/192942>

LibraryNewsletter <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/news/librarynewsletter.html>



### 理学部中央図書館「Library News」

図書室広報の一つとして、2010 年 10 月号からはほぼ年 2 回の頻度で刊行しています。学部新入生のオリエンテーション時に配布し、当図書室を理学部学生のホームライブラリーとして知っていただくことが趣旨です。図書室内の地図や利用方法などが主な内容ですが、時には図書室夜間スタッフお薦め本やお気に入りコーナー、講習会の案内なども掲載しています。図書室を知る初めの一歩として、ウェブでも公開中です。

理学部中央図書室>Library News バックナンバー

<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/lib/Library%20News%20backnumber.html>



Facebook（農、附図）や Twitter（吉田南、理中央、文、附図）などでの多様な広報も行われています。



# 教員寄贈図書

受入期間：2013/11/1 ～ 2015/3/31 寄贈受入順（敬称略）

所属部局	寄贈者氏名	寄贈図書名	出版者	出版年
教育学研究科	川崎良孝	図書館と知的自由：管轄領域、方針、事件、歴史	京都図書館情報学研究会	2013
名誉教授	庄野達哉	Electroorganic synthesis (Best synthetic methods)	Academic Press	1991
名誉教授	庄野達哉	Electroorganic chemistry as a new tool in organic synthesis (Reactivity and structure : concepts in organic chemistry v.20)	Springer Verlag	1984
教育学研究科	川崎良孝	図書館と民営化（KSPシリーズ 17）	京都図書館情報学研究会	2013
教育学研究科	渡邊洋子	日中韓の生涯学習：伝統文化の効用と歴史認識の共有（明石ライブラリー 157）	明石書店	2013
名誉教授	楠 幸男	複素解析トレッキング	太田弘文堂	2012
人間・環境学研究科	河崎 靖	「ベルギー」とは何か? : アイデンティティの多層性	松籟社	2013
人文科学研究科	船山 徹	仏典はどう漢訳されたのか：スートラが経典になるとき	岩波書店	2013
名誉教授	松田 清	山本読書室資料仮目録	京都外国語大学国際言語平和研究所	2013
名誉教授	松田 清	山本読書室資料仮目録補遺	京都外国語大学国際言語平和研究所	2013
国際高等教育院	岡本香代子	乳幼児の歩行獲得：立位から安定した歩行へ	歩行開発研究所	2013
人間・環境学研究科	河崎 靖	スイス「ロマンシュ語」入門	大学書林	2013
教育学研究科	川崎良孝	カーネギー図書館：歴史と影響	京都図書館情報学研究会	2014
人文科学研究科	籠谷直人	堤林数衛関係文書選輯（臺灣史料叢刊 11）	中央研究院臺灣史研究所・京都大学人文科学研究所	2014
人文科学研究科	武上真理子	科学の人（マン・オブ・サイエンス）・孫文：思想史的考察（現代中国地域研究叢書 6）	勁草書房	2014
人文科学研究科	菊地 暁	第二次大戦中および占領期の民族学・文化人類学（国際常民文化研究叢書 4）	神奈川大学日本常民文化研究所	2013
名誉教授	高橋正三	頭字語事典	日本図書刊行会	2014
元総長、名誉教授	尾池和夫 竹本修三	天地人：三才の世界：宇宙・地球と人間の関わり の新しいパラダイムの創造	マニアルハウス	2014
人間・環境学研究科	齋藤嘉臣	文化浸透の冷戦史：イギリスのプロパガンダと演劇性	勁草書房	2013
名誉教授	芋阪直行	報酬を期待する脳：ニューロエコノミクス の新展開（社会脳シリーズ 5）	新曜社	2014
人間・環境学研究科	田中真介	0歳から就学までの目からウロコの保育実践（発達 がわかれば子どもが見える：正）	ぎょうせい	2009
人文科学研究科	井波陵一	新訳紅樓夢 1-7	岩波書店	2013- 2014
附属図書館	北村由美	インドネシア創られゆく華人文化：民主化以降の表 象をめぐって	明石書店	2014
地球環境学	森 晶寿	地球環境学：複眼的な見方と対応力を学ぶ（京大 人気講義シリーズ）	丸善出版	2014
人文科学研究科	菊地 暁	ライフヒストリーレポート選：2012	京都大学民俗学研究会	2014
名誉教授	吉田 忠	近代オランダの確率論と統計学	八朔社	2014
法学研究科	毛利 透	統治構造の憲法論	岩波書店	2014
人間・環境学研究科	前川玲子	亡命知識人たちのアメリカ	世界思想社	2014
名誉教授	吉川榮和	Progress of nuclear safety for symbiosis and sustainability : advanced digital instrumentation, control and information systems for nuclear power plants	Springer	2014
学術情報メディア センター	奥村昭夫	デザイン、発見。	六耀社	1998
教育学研究科	楠見 孝	科学リテラシーを育むサイエンス・コミュニケーション：学校と社会をつなぐ教育のデザイン	北大路書房	2014
教育学研究科	楠見 孝	実践知：エキスパートの知性	有斐閣	2012
総長	松本 紘	京都から大学を変える（祥伝社新書 362）	祥伝社	2014
農学研究科	間藤 徹	耕畜連携をめざした環境保全型畜産システムの構築と その評価	農林統計出版	2009
教育学研究科	楠見 孝	なつかしさの心理学：思い出と感情（心理学叢書）	誠信書房	2014
名誉教授	河内良弘	満洲語辞典	松香堂書店	2014
人文科学研究科	武田時昌	術数学の射程：東アジア世界の「知」の伝統（京都 大学人文科学研究所研究報告）	京都大学人文科学研究所	2014
文学研究科	杉山正明	続・ユーラシアの東西を眺める	京都大学大学院文学研究 科	2014
名誉教授	岡田敬司	共生社会への教育学：自律・異文化葛藤・共生	世織書房	2014
地域研究統合情報 センター	山本博之	マレー・イスラム世界における公共領域の再編（CIAS discussion paper no.19：『カラム』の時代 2）	京都大学地域研究統合情 報センター	2011

所属部局	寄贈者氏名	寄贈図書名	出版者	出版年
地域研究統合情報センター	山本博之	マレー・イスラム世界におけるイスラム的社会制度の設計 (CIAS discussion paper no.23:『カラム』の時代 3)	京都大学地域研究統合情報センター	2012
地域研究統合情報センター	山本博之	災害遺産と創造的復興: 地域情報学の知見を活用して: 国際シンポジウム/ワークショップ報告書 (CIAS discussion paper no.25)	京都大学地域研究統合情報センター	2012
地域研究統合情報センター	山本博之	マレー・ムスリムによる言論空間の形成 (CIAS discussion paper no.32:『カラム』の時代 4)	京都大学地域研究統合情報センター	2013
地域研究統合情報センター	山本博之	近代マレー・ムスリムの日常生活 (CIAS discussion paper no.40:『カラム』の時代 5)	京都大学地域研究統合情報センター	2014
名誉教授	廣田 襄	徒然なるままに: 退職後を楽しむ	[廣田襄]	2014
名誉教授	荳阪直行	自己を知る脳・他者を理解する脳: 神経認知心理学からみた心の理論の新展開 (社会脳シリーズ 6)	新曜社	2014
地域研究統合情報センター	de Jong, Wil	Forests under pressure - local responses to global issues (IUFRO world series v.32)	IUFRO	2014
名誉教授	松久 寛	縮小社会への道: 原発も経済成長もいらない幸福な社会を目指して (B&Tブックス)	日刊工業新聞社	2012
名誉教授	松久 寛	衰退する現代社会の危機: 縮小社会への現実的な方策を探る	日刊工業新聞社	2014
名誉教授	加藤利三	歴史的物理実験機器カタログ: 京都大学理学部物理教室所蔵	[京都大学理学部物理教室]	[2014]
名誉教授	荳阪直行	小説を愉しむ脳: 神経文学という新たな領域 (社会脳シリーズ 7)	新曜社	2014
高等教育研究開発推進センター	溝上慎一	アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換	東信堂	2014
教育学研究科	川崎良孝	20世紀アメリカの図書館と読者層	京都図書館情報学研究会	2014
教育学研究科	川崎良孝	上海地区モバイル図書館サービスに関する調査報告 (KSPシリーズ 19)	京都図書館情報学研究会	2014
人文科学研究所	池田 巧	東方學研究論集: 高田時雄教授退休紀念 中文分冊・日英文分冊	[出版者不明]	2014
アジア・アフリカ地域研究研究科	杉島敬志	複ゲーム状況の人類学: 東南アジアにおける構想と実践	風響社	2014
教育学研究科	渡邊洋子	近代日本の女性専門職教育: 生涯教育学から見た東京女子医科大学創立者・吉岡彌生	明石書店	2014
教育学研究科	渡邊洋子	処女の友 復刻版 別冊1: 解題・総目次・索引	不二出版	2014
名誉教授	片桐 晃	基礎化学演習 第2版	[片桐晃]	2011
教育学研究科	川崎良孝	アメリカ公立図書館と成人継続教育: 1833-1964年	京都図書館情報学研究会	2014
名誉教授	中務哲郎	極楽のあまり風: ギリシア文学からの眺め	ピナケス出版	2014
生存圏研究所	三谷友彦	はじめて学ぶ電磁波工学と実践設計法: マイクロ波加熱応用の基礎・設計 (設計技術シリーズ)	科学情報出版	2015
名誉教授	福田 猛	稲垣博先生業績集	稲垣先生を偲ぶ会	2013
人間・環境学研究科	水野尚之	マイケル・ジェイムズの冒険: 空母モンテレー乗組員の日記	大阪教育図書	2015
名誉教授	山中康裕	関東近世村落史の研究: 山中清孝遺稿集	創元社	2015
生態学研究センター	酒井章子	Geographical variation in the lives of local people and socio-economic environments in Sarawak	[出版者不明]	2014
薬学研究科	山口道利	家畜感染症の経済分析: 損失軽減のあり方と補償制度	昭和堂	2015
名誉教授	志岐常正	Tsunamiites: features and implications	Elsevier	2008
人文科学研究所	田中雅一	軍隊の文化人類学	風響社	2015
人文科学研究所	籠谷直人	茶苦來山人の逸話 (臺灣史料叢刊 13)	中央研究院臺灣史研究所・京都大学人文科学研究所	2015
名誉教授	山中康裕	心理臨床プロムナード: こころをめぐる13の対話	遠見書房	2015
教育学研究科	楠見 孝	批判的思考: 21世紀を生きぬくリテラシーの基盤	新曜社	2015
教育学研究科	川崎良孝	川崎良孝教授経歴と著作目録	京都大学大学院教育学研究科図書館情報学メディア学研究室	2015
人文科学研究所	菊地 暁	ライフヒストリーレポート選 2013, 2014	京都大学民俗学研究会	2014-2015
人文科学研究所	森川裕貫	政論家の矜持: 中華民国時期における章士釗と張東蓀の政治思想 (現代中国地域研究叢書 10)	勁草書房	2015

この一覧は附属図書館への寄贈者著作のみの掲載となっております。また、所属部局は寄贈時のものです。  
上記以外にも多くの図書を各図書館・室にいただきました。今後とも蔵書充実のためご寄贈いただきたくよろしくお願いいたします。





## 図書館・室からのお知らせ

### ■京都大学図書館機構貴重書公開展示「本を伝える - 高山寺本と修復 -」の開催

京都大学に伝わる貴重な「高山寺本」を展示するとともに、京都大学における貴重資料修復事業について紹介する展示会が開催されています。案内ページでは、展示会図録も公開されていますので、ぜひご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1725>



図書館機構が開催したこれまでの公開展示については、次でご紹介しています。



<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/tenjikai/index.html>

### ■図書のテーマ展示が行われています

附属図書館では、ブック展示「研究者の本棚」が 11 月 27 日（金）まで 1 階ラーニング・コモンズ前で開催中です。アカデミックデイ 2015 連携企画として、山極総長ほか京都大学の研究者がセレクトした「今の仕事（進路）を選ぶきっかけになった本」などを展示中。



ブック展示「研究者の本棚」

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1757>

経済学部図書室では、資料展示「先輩の著作を読んでみよう：院進学を目指す君へ」を 11 月 30 日（月）まで閲覧室内特設コーナーで開催中です。今年は大学院進学を考えている方や、レポートなどの文章を書くことがニガテな方におススメの企画になっています。



資料展示「先輩の著作を読んでみよう：院進学を目指す君へ」

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1768>

農学部図書室では、展示企画「Book Collection vol.7 “本高く、農肥ゆる秋 - 秋の夜長にシリーズまとめ読み -”」として、「シリーズ本」を、10 月 30 日（金）まで展示しています。



展示企画「Book Collection vol.7 “本高く、農肥ゆる秋 - 秋の夜長にシリーズまとめ読み -”」

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1758>

期間終了後も、案内ページからは展示された本のリストを見ることができます。

### ■医学図書館で海外医師免許試験受験者を支援するキャンペーンを実施中

USMLE（米国医師資格試験）などの受験者を支援するため、学習用図書の購入希望受付などを行っています。詳しくは次をご覧ください。



<http://www.lib.med.kyoto-u.ac.jp/usmle2015.html>

### ■静脩 Vol.52 No.2 に掲載した内容について、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

訂正箇所：2 ページ 著者肩書

誤) 国際高等教育院准教授

正) 国際高等教育院特定外国語担当准教授

京都大学図書館機構報「静脩」(ISSN 0582-4478)

Vol.52 No.3 (通巻 187 号) 2015 年 10 月 31 日発行

編集：「静脩」編集小委員会(責任者：附属図書館事務部長)

発行：京都大学図書館機構

京都府京都市左京区吉田本町 36-1

TEL 075-753-2613

URL <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

表紙題字：附属図書館所蔵西園寺公望公揮毫

### 今月の表紙

附属図書館をイメージしたオリジナルデザインです。10 月号からスタートする読者アンケートにご協力いただいた方全員に、このデザインと同じ PC 壁紙とブックカバーをプレゼントします。

